

令和3年度（2021年度）

# 事業報告

令和3年（2021年）4月1日～令和4年（2022年）3月31日

公益財団法人庭野平和財団

## [事業活動]

(公益目的事業1)

### 1. 宗教的精神にもとづく平和のための活動と研究を推進する事業

宗教的精神にもとづく平和のための活動を推進する宗教組織および市民組織を次の事業で支援し、その活動の質的向上とその活性化を図る。

#### 1. 宗教的精神にもとづく平和のための活動に関する社会調査・資料収集事業

宗教組織および市民組織が行う平和のための活動に関する社会調査・資料収集を行い、その結果を公表する。主たる目的は、それぞれの組織関係者の意識向上をはかることで、それぞれの組織活動の質的向上を目指し、宗教的精神にもとづく平和のための活動に資する。

##### (1) 社会調査

今後必要となる社会調査のテーマ策定の準備として、石井研士氏（國學院大學教授、当財団評議員）の協力をいただき、これまで実施した調査結果を踏まえつつ新たな角度からのアプローチとして、宗教社会学の専門家による相互討論形式の研究会をオンライン（Zoom ミーティング）で実施した。

第1回研究会（7月8日）は、デジタル化（情報化）は宗教の現状を打開するのか、それとも変容させるのかについて発表者の報告の後、参加者で討論した。

第2回研究会（9月16日）は、デジタル化の進展とコロナ禍における近年の宗教の動向、特に法要や参拝の変容について発表者からの報告をもとに討論した。

第3回研究会（10月21日）は、仏教研究と、ある宗派の実勢調査結果をもとに仏教寺院の現状と課題、および今後予測される事態について討論した。

第4回研究会（12月9日）は、キリスト教会の現状と課題、および今後の展望について、メディア報道と現地調査から考察し、討論した。さらに日本宗教史から見た新宗教の将来について討論した。

##### (2) 情報・資料収集

被助成事業の進捗や成果等を実地に知るため、採択された団体の行う事業に参加した。

月日	区分	団体／事業	場所
10.8	NPFプログラム	ソーシャル・ジャスティス基金(SJF)／ 1次審査会	オンライン
10.29	NPFプログラム	ソーシャル・ジャスティス基金(SJF)／ 2次審査会	オンライン
11.21	NPFプログラム	ジャーナリズム支援市民基金／ 第2回ジャーナリズムXアワード受賞者発表 イベント	オンライン
R4.1.7	NPFプログラム	ソーシャル・ジャスティス基金(SJF)／ 第10回助成発表フォーラム	オンライン
R4.2.13	NPFプログラム	国際協力NGOセンター(JANIC)／ HAPIC2022セッション	オンライン

## 2. 普及啓発事業

公益目的事業（社会調査・資料収集事業、庭野平和賞の事業及び助成事業）の成果を、宗教組織および市民組織の関係者を主たる対象に、セミナー、シンポジウムの開催により普及啓発する。そのことにより宗教組織および市民組織の人材の育成、専門知識の取得および組織の活動の充実を目指す。

### (1) 庭野平和賞受賞者記者懇談会(京都) — II. 1. (2) の項参照

令和3年6月4日、第38回庭野平和賞受賞者によるスピーチ、京都宗教記者クラブの記者との質疑応答などによる懇談会を開催した。

### (2) シンポジウム「2030年の宗教：コロナ禍の中で」

a. 日 時：令和4年2月26日 午後4時～6時30分

b. 会 場：オンライン（Zoom ミーティング）

c. 概 要：本年度、社会調査に関連して実施した4回の研究会でコロナ禍で露呈した宗教団体の公益性やデジタル化の広まり、儀礼文化のゆくえなどが議論された。この研究会での成果を基に、研究会のメンバーを登壇者とするシンポジウムを開催した。はじめに、石井研士氏（國學院大學教授）から各研究会のポイントを報告。次いで、板井正斉氏（皇學館大學教授）、大谷栄一氏（佛敎大學教授）、川又俊則氏（鈴鹿大學教授）、寺田喜朗氏（大正大學教授）、藤本頼生氏（國學院大學准教授）、相澤秀生氏（跡見学園女子大學兼任講師）、藤丸智雄氏（浄土真宗本願寺派総合研究所副所長）、そして石井研士氏から、研究会での議論や実地の調査結果を踏まえて、各自の視点から、神道、仏教、キリスト教、新宗教の現状と2030年に向けた展望が語られた。教団付置研究所関係者や市民ら約40名が参加した。

### (3) 現代社会を考えるセミナー

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大という事態を受けて、「新型コロナウイルスの影響と市民社会 連続セミナー」を、オンライン（Zoom ミーティング）で実施した。

<第1回>「今回の事態の前から困難や課題を抱えた人々の状況の推移とその人々を支援する活動・団体の対応の推移」

・日 時：令和3年6月8日 午後4時～6時

・登壇者：赤石千衣子氏 認定特定非営利活動法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ理事長  
稲葉 剛氏 一般社団法人つくろい東京ファンド代表理事、立教大学特任准教授  
小河光治氏 公益財団法人あすのば代表理事

・進 行：川北秀人氏 IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所]代表者

※約50名が参加した。

<第2回>「今回の事態を受けた助成機関の対応の推移」

・日 時：令和3年7月1日 午後4時～6時

・登壇者：阿部陽一郎氏 社会福祉法人中央共同募金会理事・事務局長  
大川昌晴氏 一般財団法人日本民間公益活動連携機構総務部長  
山田健一郎氏 一般社団法人全国コミュニティ財団協会代表理事

- ・進 行：川北秀人氏 IHOE[人と組織と地球のための国際研究所]代表者  
※約 35 名が参加した。

＜第 3 回＞「今回の事態を受けた宗教者の対応の推移」

- ・日 時：令和 3 年 7 月 14 日 午後 4 時～6 時
- ・登壇者：戸松義晴氏 公益財団法人全日本仏教会理事長  
西原美香子氏 公益財団法人日本 YWCA 業務執行理事、当財団評議員  
吉水慈豊氏 NPO 法人日越ともいき支援会代表理事
- ・進 行：川北秀人氏 IHOE[人と組織と地球のための国際研究所]代表者  
※約 40 名が参加した。

＜第 4 回＞「第 1 回～第 3 回の総括と今後求められる視野・取り組み」

- ・日 時：令和 3 年 7 月 15 日 午後 4 時～6 時
- ・講 師：川北秀人氏 IHOE[人と組織と地球のための国際研究所]代表者 兼 ソシオ・  
マネジメント編集発行人  
※約 40 名が参加した。

(4) BNN（仏教 NGO ネットワーク）活動の促進

BNN の活動の促進に貢献するため、企画委員会等に参加し、BNN が主催する『寺院備災ガイドブック』の普及活動や講演会等の開催に協力した。また、BNN ニュースレターの企画、編集に協力した。

会議日：令和 3 年 4 月 12 日、6 月 21 日、11 月 18 日、令和 4 年 2 月 28 日

(5) ウェブサイトを利用した情報公開

公益目的事業の内容等の公開につとめるとともに、ウェブサイトの閲覧性を高めた。

(公益目的事業 2)

## II. 宗教的精神にもとづく平和のための活動と研究に功績のある者に対する褒賞

宗教的精神にもとづく平和のための活動と研究に功績のある者に対する褒賞として、庭野平和賞の贈呈と庭野平和賞奨励賞の贈呈を行う。また、その業績を国内外のメディアを通じて世界的に広報する。

### 1. 庭野平和賞

(1) 第 38 回贈呈式・記念講演

- a. 日 時：令和 3 年 6 月 2 日 午後 2 時～3 時
- b. 会 場：オンライン（当財団 HP 特設サイト）
- c. 概 要：第 38 回庭野平和賞贈呈、受賞者による記念講演。昭慧法師（第 38 回庭野平和賞受賞者）、財団関係者、宗教関係者、学術経験者、市民活動関係者、マスコミ関係者など約 330 名が参加した。

(2) 第 38 回庭野平和賞受賞者を囲む記者懇談会

- a. 日 時：令和 3 年 6 月 4 日 午後 2 時～3 時 30 分
- b. 会 場：オンライン（Zoom ミーティング）

- c. 概要：第38回庭野平和賞受賞者と京都宗教記者クラブ所属の記者との懇談会。昭慧法師（第38回庭野平和賞受賞者）、京都宗教記者クラブ所属の記者など、約15名が参加し、受賞者による発題の後、記者との質疑応答を行った。

(3) 庭野平和賞委員会

第39回受賞者の選定並びに第40回候補者受付及び審査等の実施

A. 日程：

令和3年3月	第39回第2次選考（～4月）
令和3年10月26日	執行委員会及び指名委員会の開催
令和3年10月27日・ 11月2日	平和賞委員会の開催 第39回受賞者選定 その後、調査及び内示の実施
令和3年10月	第40回一般推薦の推薦依頼書送付
令和3年11月	第40回一般推薦の締切 第40回庭野平和賞委員会委員への推薦依頼・受付
令和4年1月	第40回第1次選考（～令和4年2月）
令和4年2月	第39回受賞者公式発表（京都、バチカン）
令和4年3月	第40回第2次選考（～4月）

B. 第39回受賞者の選定

令和3年10月27日・11月2日に開催された庭野平和賞委員会において、第39回庭野平和賞受賞者に、南アフリカのマイケル・ラプスレー司祭を選定した。受諾の意思を確認後、令和4年2月21日、京都及びバチカン（ローマ）において記者発表を行なった。

C 庭野平和賞委員会委員（敬称略）

サラ・ジョセフ（委員長）、ランジャン・ムコパディヤーヤ、フラミア・ジョバネッリ、ムハンマド・シャフィーク、ノクゾラ・ムンデンデ、ソンプーン・チュングプランプリー、アブラハム・スコルカ、ムニブ・ユナン、庭野日鏡

(4) 関連行事

- a. 令和3年6月3日 受賞者と当財団の庭野浩士理事長の対談

2. 庭野平和賞奨励賞

(1) 贈呈式

本事業実施初年度にあたり受賞者がいないため贈呈式の実施はなかった。

(2) 庭野平和賞奨励賞委員会

第1回庭野平和賞奨励賞受賞者の選定

<日程>

令和3年9月	推薦依頼と受付（～10月）
令和3年12月	第1次選考
令和4年1月	第2次選考会議（オンライン）（20日、26日）

B. 庭野平和賞奨励賞委員会委員（敬称略）

浅見靖仁（委員長）、小林久美子、神 仁、目加田説子、岩附由香、枝木美香、工藤律子、西出勇志、ウスビ・サコ、ソンブーン・チュングプランプリー

（公益目的事業3）

### III. 宗教的精神にもとづく平和のための活動及び研究に対する助成

人びとの幸福と平和な社会づくり、ひいては世界平和の推進を目指した宗教的精神にもとづく平和のための活動と研究へ資金助成を行う。

#### 1. 公募による助成

##### (1) 実施概要

募集期間： 令和3年9月22日～10月22日  
選考委員会： 令和4年2月25日  
応募件数： 203件  
助成件数： 11件  
助成総額： 9,923,524円  
助成期間： 令和4年4月から1年間  
ねらい： 「分断された社会の中の対話と協力」  
“Dialogue and collaboration in divided societies”

##### (2) 公募助成小委員会（敬称略）

茅野俊幸（委員長）、下澤嶽、工藤律子、牧田東一、内山義英、秀島くみこ

##### (3) 助成先の決定

公募助成小委員会（選考委員会）で審査し選考した助成先を、理事長の決裁で決定した。

#### 2. 非公募による助成（NPFプログラム）

助成総額 21,766,370円

##### (1) 年度計画当初の助成・・・助成額合計 9,619,000円（7件）

###### A. 北東アジアの平和構築に寄与する「大学生交流」の基盤づくり（4年目）

- a. 団体名：KOREA こどもキャンペーン
- b. 助成額：300,000円

###### B. Social Justice を求める市民活動・連携促進プロジェクト（3年計画の2年目）

- a. 団体名：特定非営利活動法人 まちぽっと ソーシャル・ジャスティス基金
- b. 助成額：2,100,000円

###### C. 子ども被災者支援基金 保養団体支援事業（新3か年計画の3年目）

- a. 団体名：一般社団法人 子ども被災者支援基金
- b. 助成額：600,000円

###### D. 第12回東アジア市民社会フォーラム

- a. 団体名：公益財団法人 公益法人協会
- b. 助成額：460,000円

###### E. 平和にユナイト！パキスタンにおける青少年の地域平和活動とアフガニスタンとの連携

- a. 団体名：一般社団法人 平和村ユナイテッド
  - b. 助成額：2,000,000 円
- F. 医療相談会事業及びコロナ対策事務局運営の整備
- a. 団体名：特定非営利活動法人 北関東医療相談会
  - b. 助成額：3,000,000 円
- G. 次世代ジャーナリズムを支援する第2回「ジャーナリズム X アワード」の企画実施と運営  
～2年目のステップアップ～
- a. 団体名：ジャーナリズム支援市民基金
  - b. 助成額：1,159,000 円
- (2) 年度内の採択（臨時助成）・・・・・・・・助成額合計 12,147,370 円（16 件）
- A. Empowering new generations as social communicators and digital innovators
- a. 団体名：Pax Christi International (PCI)
  - b. 助成額：US\$10,000（1,105,600 円）
- B. インドネシア・バリ島車いす事業完成（※）
- a. 団体名：特定非営利活動法人 「飛んでけ！車いす」の会
  - b. 助成額：697,830 円
- C. ネパールにおける脆弱性の高い世帯への緊急食料支援（※）
- a. 団体名：一般社団法人 日本インターナショナル・サポート・プログラム（JISP）
  - b. 助成額：980,000 円
- D. コロナゴッチョスラムの女性と子どもたちへの緊急生活食糧支援及び COVID19 感染拡大防止  
のための公衆衛生支援活動（2年目）（※）
- a. 団体名：特定非営利活動法人 リトル・ビーズ・インターナショナル
  - b. 助成額：873,000 円
- E. コロナ感染症による困窮者への収入向上をめざした農産物加工品生産（※）
- a. 団体名：特定非営利活動法人 地球の友と歩む会
  - b. 助成額：980,000 円
- F. HIV 陽性シングルマザーの生計向上を通じたエイズ孤児支援事業（※）
- a. 団体名：特定非営利活動法人 エイズ孤児支援 NGO・PLAS
  - b. 助成額：938,940 円
- G. 長期化するコロナ禍により深刻な被害を受けているフィリピン山村への支援（※）
- a. 団体名：特定非営利活動法人 フェア・プラス
  - b. 助成額：510,000 円
- H. コロナ禍で困窮しているネパールの子どもの食糧支援（※）
- a. 団体名：特定非営利活動法人 国際交流の会とよなか（TIFA）
  - b. 助成額：500,000 円
- I. 新潟から世界のコロナ困窮者へのサポートプロジェクト（※）

- a. 団体名：特定非営利活動法人 にいがた NGO ネットワーク
- b. 助成額：660,000 円
- J. バングラデシュ学校(幼・小・中) のコロナ緊急対策と日本での PR 活動プロジェクト (※)
  - a. 団体名：特定非営利活動法人 YOU&ME ファミリー
  - b. 助成額：130,000 円
- K. 海外活動モニタリングの再開ならびに市民への活動成果の情報発信・啓もう活動事業(※)
  - a. 団体名：一般社団法人 シェア・ザ・プラネット
  - b. 助成額：162,000 円
- L. 地域復興支援・地場産業発展支援事業 (※)
  - a. 団体名：特定非営利活動法人 国際地雷処理・地域復興支援の会
  - b. 助成額：960,000 円
- M. 教育・保健医療活動継続緊急支援事業 (※)
  - a. 団体名：特定非営利活動法人 バングラデシュと手をつなぐ会
  - b. 助成額：1,000,000 円
- N. 日本の子どもの権利を包括的に保障する「子ども基本法」制定に向けたアドボカシー活動
  - a. 団体名：認定 NPO 法人 ACE
  - b. 助成額：1,000,000 円
- O. NPO をはじめとする社会問題に取り組む団体におけるハラスメントの相談対応窓口に向けたプロジェクト
  - a. 団体名：特定非営利活動法人 mia forza
  - b. 助成額：150,000 円
- P. 令和3年度 HAPIC2022 への協賛および NPF セッション実施
  - a. 団体名：特定非営利活動法人 国際協力 NGO センター (JANIC)
  - b. 助成額：1,500,000 円

(※) 新型コロナウイルスの感染拡大によって市民社会に生まれた緊急支援のニーズに応えるものであるとの配慮と認識の下、審査・決裁された案件。(12 件 8,391,770 円)

なお、案件形成にあたっては、特定非営利活動法人国際協力 NGO センター (JANIC) に協力いただいた。

(3) NPF プログラム助成小委員会 (敬称略)

川北秀人 (委員長)、浅見靖仁、熊岡路矢、米倉雪子、野口陽一

委員会開催日：令和3年5月26日、7月28日、9月29日、11月24日、

令和4年2月24日

(4) 助成先の決定

年度計画当初の助成先は、NPF プログラム助成小委員会において予め審査された助成案件を理事会で審議して決定した。年度内の採択 (臨時助成) については、年度計画当初の助成が決定された後に申請された、活動が1年未満で終了する短期的な案件を NPF プログラム助



成小委員会で審査し、その後、理事長による決裁で助成先を決定した。

### 3. 指定寄付による助成

本年度は、この助成に該当する他団体からの財源の提供がないため実施しなかった。

### 4. 助成委員会の開催

各助成小委員会の委員長から聞き取りによって情報を収集し、助成事業全体の方針、運営他、助成事業に関する重要事項について検討した。

## [法人運営]

### I. 総務

#### 1. 法務に関する業務

##### (1) 内閣府との連絡、交渉及び法務局への登記事務他

令和3年4月9日 役員等の変更の届出（内閣府／電子申請）  
令和3年6月22日 令和2年度事業報告等の提出（内閣府／電子申請）  
令和3年9月9日 役員等の変更の届出（内閣府／電子申請）  
令和3年12月10日 役員等の変更の届出（内閣府／電子申請）  
令和4年3月25日 令和4年度事業計画書等の提出（内閣府／電子申請）

#### 2. 会議に関する業務

##### (1) 理事会、評議員会の開催

令和3年4月20日（決議があったものとみなされた日）

- ・第33回理事会（決議の省略の方法による）

審議事項：役員賠償責任保険加入の承認の件

令和3年5月17日

- ・第34回理事会

審議事項：庭野平和賞奨励賞委員会委員の選任の件、令和2年度事業報告及び附属明細書の承認の件、令和2年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録の承認の件、謝金に関する規程の改正の件、第24回評議員会の開催の件

報告事項：令和3年度事業の進捗状況・理事長及び専務理事の職務執行状況について、令和2年度の寄附受領について、助成先の事業報告について

令和3年6月14日

- ・第24回評議員会

審議事項：令和2年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録の承認の件

報告事項：令和2年度事業報告及び附属明細書について、第33回理事会・第34回理事会について、令和3年度事業の進捗状況・理事長及び専務理事の職務執行状

況について、助成先の事業報告について

令和3年9月15日（決議及び報告があったものとみなされた日）

- ・第35回理事会（決議の省略の方法による）

審議事項：庭野平和賞奨励賞委員会委員の選任の件（継続審議）

令和4年3月2日

- ・第36回理事会

審議事項：庭野平和賞委員会委員選任の同意の件、令和4年度事業計画書及び収支予算書並びに資金調達及び設備投資の見込みの承認の件、令和4年度資産運用基本方針の承認の件、令和4年度役員賠償責任保険加入の承認の件、第25回評議員会の開催の件

報告事項：令和3年度事業の経過報告・理事長及び専務理事の職務執行状況について、令和3年度収支決算見込みについて

令和4年3月24日

- ・第25回評議員会

審議事項：監事の選任の件

報告事項：第36回理事会について、令和3年度事業の経過報告・理事長及び専務理事の職務執行状況について、令和3年度収支決算見込みについて、令和4年度事業計画書及び収支予算書並びに資金調達及び設備投資の見込みについて

## (2) 月例ミーティング

当財団業務の推進にあたり理事長への報告・調整・打ち合わせ等を実施

実施状況：令和3年4月28日、5月25日、6月25日、7月27日、8月23日、9月27日、10月25日、11月22日、12月27日、令和4年1月24日、2月28日、3月25日

## (3) 諸会議の開催・運営

### 3. 監査に関する業務

#### (1) 監査のための諸資料の準備

#### (2) 監査の実施

実施日：令和3年5月13日

場 所：当財団会議室

内 容：令和2年度（令和2年4月1日～令和3年3月31日）の会計監査及び業務監査

### 4. 文書管理に関する業務

#### (1) 各種文書の作成、提出、管理及び保管他

### 5. 庶務に関する業務

#### (1) 什器備品、不動産、印刷物、公印等の管理他

#### (2) その他どの部門にも属さない事項の処理他

## II. 財務

### 1. 資産運用及び管理に関する業務

#### (1) 債券等の運用

- A. 令和3年6月2日、債券の償還金（1億円）による、「DBハイパーリバースデュアル債〈日興〉」（1億円）の購入
- B. 令和3年6月4日、債券の償還金（1億円）による、「みずほ証券 C/L（RENAUL）債〈みずほ〉」（1億円）の購入
- C. 令和3年11月2日、債券の償還金（1億円）による、「CITIGH 豪\$パワードリバースコール債〈メルガン〉」（1億円）の購入
- D. 令和3年11月5日、債券の償還金（1億円）による、「NGFC C/L（RENAUL）債〈野村〉」（1億円）の購入
- E. 令和4年2月25日、合同運用指定金銭信託の償還金（1億円）による、「合同運用指定金銭信託リニューアブル・トラスト〈三菱UFJ信託銀行〉」の購入

### 2. 経理、会計、記帳計算に関する業務

- ・現金、通帳の管理（外貨含む）
- ・日々の伝票記帳、毎月の伝票、月次決算書の作成、確認
- ・源泉徴収税の納付
- ・仮払金の管理
- ・国税、地方税への対応
- ・随時、送金手配（海外送金含む）
- ・法定調書の作成
- ・寄附金の受付

## III. 労務

### 1. 事務局人員構成（令和4年3月31日現在）

常勤	庭野 浩士	理事長
	高谷 忠嗣	専務理事
	廣中 誠司	事務局長
	仲野 省吾	助成・奨励賞担当
	関根 まなか	研究・普及啓発担当
	廣井 由紀子	総務・経理担当
	工藤 夏紀	平和賞担当
	平野 愛奈	平和賞担当

### 2. 人事及び福利厚生に関する業務

- ・勤怠管理及び出勤簿、勤怠月報の管理
- ・社会保険業務
- ・安全衛生及び福利厚生他

以上

## 附属明細書

令和3年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和4年6月

公益財団法人庭野平和財団